

(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等 (宮城県交付分) 個票

平成 26 年 11 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	22	事業名	道路事業 (市街地相互の接続道路) (一) 岩沼海浜緑地線 (二の倉)	事業番号	D-1-1
交付団体	宮城県		事業実施主体 (直接/間接)	宮城県 (直接)	
総交付対象事業費	1,650,000 (千円)		全体事業費	1,650,000 (千円)	

事業概要

岩沼市では、「減災」の考え方に基づき、東部地区の安心、安全を確保するために、中央・西部地区への避難路を確保することとしている。

(岩沼市震災復興計画 P8「津波からの安全なまちづくり」)

本路線は、二の倉工業団地 — 岩沼市中心部を接続するものであり、津波により壊滅的な被害を受けた市街地から各集落を接続する道路を整備し、被災地間の交通円滑化を図る。

これまで、第 1 回申請において、平成 24 年度分として、測量設計費・用地補償費・本工事費を申請し、交付されている。また、第 4 回申請にて、平成 25 年度分として用地補償費、本工事費、平成 26 年度分として、本工事費を申請し、交付されている。

今回の申請は、平成 27 年度分として、本工事費を申請するものである。

道路現況 : W=6.0(5.5)m

整備後 : W=11.5(6.5)m

当面の事業概要

<平成 24 年度>

調査・測量・設計、用地取得、工事

<平成 25 年度>

用地取得、工事

<平成 26~27 年度>

工事

東日本大震災の被害との関係

今回の津波により、岩沼市では沿岸部から常磐自動車道周辺までの全域で流失など壊滅的な被害を受けたため、市街地や各集落を接続する道路を整備することにより、快適な生活環境確保と、地域活力の想像に資するものである。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--

(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成26年11月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	31	事業名	都市公園整備事業(防災公園)(整備事業)	事業番号	D-22-1
交付団体	宮城県		事業実施主体 (直接/間接)	宮城県(直接)	
総交付対象事業費	1,006,000(千円)		全体事業費	1,006,000(千円)	
事業概要					
今回の津波により被災した県立都市公園の岩沼海浜緑地について、既存部分の災害復旧事業と併せて津波時の一時避難場所の確保を目的とした防災公園及び避難路の整備を行うもの 公園種別：大規模公園(広域公園)					
当面の事業概要					
<平成24年度・平成25年度> 測量及び設計を行い事業計画を策定する。					
<平成26年度> 都市計画の変更、事業認可等の事務手続きを行う。 施設用地の造成を行う。					
<平成27年度> 公園整備工事を行う。					
東日本大震災の被害との関係					
現在公園出入口や駐車場が海岸側に設置されており、緊急時の避難経路も海岸沿いのため危険な状況となっていることから、本事業で新たに内陸側に出入り口や駐車場、緊急避難の築山等を整備し、公園利用者や周辺避難者の安全を確保することで、今回の大震災を教訓に津波に対し防災機能を有する公園として再整備を図る。					
関連する災害復旧事業の概要					
岩沼海浜緑地災害復旧事業 A=30.1ha 原則として、被災を受けた主な施設(野球場、テニスコート、多目的広場、芝生広場等)については、災害復旧事業で復旧することとし、津波防災のための追加施設及び関連施設のみ復興交付金事業で対応する。					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

岩沼市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成26年11月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	36	事業名	都市公園整備事業(防災公園):用地費	事業番号	D-22-2
交付団体	宮城県		事業実施主体(直接/間接)	宮城県(直接)	
総交付対象事業費	9,300(千円)		全体事業費	9,300(千円)	
事業概要					
今回の津波により被災した県立都市公園の岩沼海浜緑地について、既存部分の災害復旧事業と併せて津波時の一時避難場所の確保を目的とした防災公園及び避難路の整備を行うもの 公園種別:大規模公園(広域公園)					
当面の事業概要					
<平成25年度> 避難路取得にあたり、関係機関との協議を実施。					
<平成26年度> 避難路に必要な用地の取得を行う。					
<平成27年度> 避難路に必要な用地の取得・完了。					
東日本大震災の被害との関係					
現在公園出入口や駐車場が海岸側に設置されており、緊急時の避難経路も海岸沿いのため危険な状況となっていることから、本事業で新たに内陸側に出入り口や駐車場、緊急避難の築山等を整備し、公園利用者や周辺避難者の安全を確保することで、今回の大震災を教訓に津波に対し防災機能を有する公園として再整備を図る。					
関連する災害復旧事業の概要					
岩沼海浜緑地災害復旧事業 A=30.1ha					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	